

企画展

没後50年考古学者

藤森栄一と諏訪の考古学

令和5年11月18日(土)～12月24日(日)

考古学者の藤森栄一は諏訪市上諏訪の商家に生まれ、旧制諏訪中学校(現 諏訪清陵高校)の在学中すでに考古学についての論文を発表するなど、若くして頭角を現します。大学への進学は叶わず家業を手伝いながら独力で調査や論文執筆を続けますが、考古学への思いは断ち切れず、昭和8年には諏訪を離れ東京へ上京し、森本六爾(奈良県出身の弥生時代研究者)や東京考古学会で多くの研究者仲間を得て活動します。

青年時代は東京考古学会での活動に、みち子との結婚、そして太平洋戦争への従軍と、激動のうちに34歳で終戦をむかえます。翌21年に復員すると諏訪に戻り、以降亡くなるまで諏訪を拠点としてさまざまに活躍します。

諏訪では古書店「葦牙(あしかび) 書房」、旅館「やまのや」をみち子と経営しながら、「諏訪考古学研究所」を立ち上げて若い研究者たち、そして地域住民とともに諏訪地域の遺跡発掘を精力的に行いました。

晩年は病との闘いの中、諏訪湖底の曾根遺跡や霧ヶ峰高原の旧御射山遺跡の保存活動などに先頭に立つて取り組みました。

藤森は単著や論文など生涯で600以上の文章を世に残しています。それらは学問上重要な論考もあれば、一般の人にも広く読まれるものまでさまざまです。昭和21年に出版した『かもしかみち』は多くの若者に影響を与え、考古学の道へと誘うものとなりました。また、藤森や研究所が発掘や収集した考古遺物約6万点は、平成24年に国登録有形文化財に登録されています。

藤森は、考古学者であり、執筆家であり、多くの後輩研究者を直接・間接に生み育て、その業績と精神は現在も引き継がれています。



考古学者 藤森栄一 (1911-1973)

- 開館時間／午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日／毎週月曜日・祝日の翌日(11月24日)
- 入館料／一般500円 小中学生150円
(20名以上で団体料金 一般400円 小中学生100円)
諏訪地域在住または在学の小中学生は無料
- 交通案内／JR上諏訪駅よりバス・タクシー利用(バス約30分「上社」下車)
JR茅野駅よりタクシー利用で約15分、中央道諏訪ICより車で5分

SCM 諏訪市博物館
Suwa City Museum〒392-0015 長野県諏訪市中洲171-2
TEL.0266-52-7080 FAX 0266-52-6990
https://suwacitymuseum.jp
E-mail suwamu@city.suwa.lg.jp

博物館HP





藤森栄一の書斎

企画展

没後50年 考古学者 藤森栄一と 諏訪の考古学

令和5年 11月18日(土)～12月24日(日)

関連イベント

①諏訪考古学研究会共同開催
『没後50年記念フォーラム じっくり一日、
考古学者・藤森栄一を振り返る』

■日 時：12月3日（日）午前10時～午後4時
■会 場：諏訪市博物館 ■定 員：40名
■講演者：三上徹也 高見俊樹 宮坂清 小松隆史 小林公明

②諏訪考古学研究会共同開催
『藤森栄一弟子 宮坂光昭 没後10年
事績と思い出を語りあう』

■日 時：12月10日（日）午後1時30分～3時30分
■会 場：諏訪市博物館 ■定 員：40名
■講演者：鵜飼幸雄 百瀬一郎 河西克造

③長野県考古学会共同開催
『第47回藤森栄一賞授賞式および記念講演会』

■日 時：12月17日（日）午後1時～4時30分
■会 場：諏訪市文化センター ■定 員：80名
■講演者：藤森英二（北相木村教育委員会・受賞者）
原田幹（あいち朝日遺跡ミュージアム・受賞者）
会田進（前長野県考古学会長）

□①～③いずれも事前申し込みが必要です。定員に達し次第、申込みを終了します。
□申し込み開始日：11月8日（水）から □電話または受付でお申し込みください（休館日を除く午前9時から午後5時）

同時開催

すわ大昔ミニギャラリー展
没後10年 宮坂光昭 考古学と諏訪信仰

■開催期間／令和5年11月18日(土)～12月24日(日)
■展示会場／2階 常設展示室2内

藤森栄一の弟子で、藤森亡きあとの諏訪を牽引した考古学者・郷土史研究者。当館に寄贈された氏の収集考古資料や写真などを展示します。



小丸山古墳の発掘現場を視察する藤森栄一
(中央の杖を持つ人物) 昭和48年9月27日撮影



宮坂光昭

講演内容など詳しくは
博物館ホームページで
ご確認ください。



博物館HP